



帰国生の学校選び A to Z

●第14回●

学校情報は自分の目や耳で確認することが大切

5～6月は日本の学校が米国各地を訪れ、説明会や相談会が行われます。また、日本では5～7月にかけて学校説明会や相談会が目白押しです。海外では学校の生の情報が入手しにくいので、このような機会を利用することはとても大切です。ここでは、学校選びのための情報の収集について述べましょう。

学校選びのために最初に手掛けたいのが志望校選定のための情報収集です。志望理由には様々なポイントがありますが、大切なのは子ども自身がその学校に入学して満足できるかどうかを見極めることです。帰国生受け入れ校であっても、入学後は国内生と同様に扱う学校も多いので注意が必要です。学力レベルの高い学校では授業についていけないという問題が生じます。また、海外で育った子どもは日本特有の校風になじめないこともあります。カリキュラムや授業の特徴、学校生活の様子などを確認することが重要です。それには各学校のウェブサイトやパンフレットが参考になりますし、海外子女教育振興財団やフレンズ帰国生母の会などの編集した情報誌も役立ちます。一方で、実際に学校を訪問して自分の目で見て確認することも重要です。文章や画像では判断できない雰囲気を感じることができるからです。

志望校が決まったら、次は入試情報の収集です。出願条件をクリアしているか、どんな書類が必要か、入試ではどんな科目が課されるかなどを確認しましょう。過去の入試問題を入手して解いてみることも大切です。入試に関する情報は、志望校のウェブサイトや募集要項にて確認できますが、海外の学習塾(JOBA や ena、Sapix など)の情報誌にも掲載されています。また、学校の担当の先生に直接質問することも重要です。学校を訪問できないときは電話やE-mailでも問い合わせれば答えていただけます。特に、情報の少ない編入学に関しては、学校側に問い合わせることをお勧めします。



執筆者：丹羽 筆人（文京学院大学女子中学校 高等学校 北米事務所アドバイザー／名古屋国際中学校・高等学校 アドミッションオフィサー 北米地域担当）

河合塾での指導経験を経て米国では補習校・学習塾にて帰国生を指導。現在はデトロイトりんご会補習授業校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験学習「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所アドバイザー。お問い合わせ先：E-mail bunkyo@ujeec.org Phone & Fax 855-926-1140(文京学院) E-mail nihs@ujeec.org Phone & Fax 855-669-9305(名古屋国際)